

四季の山・春山 笠取山～飛龍山を歩いて

今回は飛龍山登頂が第一の目標だった。無事登頂できて良かったが、あまり感動もなく、印象も薄い。山頂が景観もなく、なだらかなボヤーとした地形だったからかもしれない。もし、逆に前飛龍山からのきつい尾根を登って雲取山への通過点として再来してみたらどんな思いがするだろうか？ 機会があったら、また出かけてみたくなった。

作場平から笠取山は経験のあるコースだったため、今回はちょっとリュックを重くしてトレーニングを兼ねてみた。欠陥のある足首の様子と自分の体力を確認してみたかった。

普段より重い荷物を背負っているのに身体はほどよい心地よさを感じているのに気が付いた。コースリーダーのペース配分の良さのおかげを感じた。恐らく私一人の単独行であつたら、笠取山のあの急斜面は息を切らせて何度か立ち止まっていたに違いない。こんな感想文を書いているから、末長く私の頭と体に教訓として残ることだろう。

重みをもったリュックは、やはり踵には負担が来た。山小屋では立ち上がるのも痛く、少々後悔もしたが、反面、随分強くなったことも確認できた。

二日目は、竜喰山への登頂一番乗をさせてくれた。メンバーの皆さん、ありがとうございます。物好きな私に花を持たせてくれて感謝している。

竜喰山頂上から県境尾根から山梨側の登山道に下りる際、あのガレた沢は大変だった。前日からの足の痛みが一気に襲いかかってきた。ミサカ尾根から丹波への下りは感覚もおかしくなり、どっかりと腰を下ろして休みたい気持ちにしばしば襲われた。時間に追われていたせいもあったが休憩時間が短かったことが逆に幸いした感じである。

二日間、天候はいまいちだったものの、顔見知りになったメンバーに恵まれ、リラックスした気持ちで山歩きができた。また、我が身体や両足の踵ともうまく調和がとれたトレーニングもできて心地よい山行であった。

(森田 勉 記)

